

### (3) 子ども見守り活動

#### 〔目的等〕

犯罪に巻き込まれる子どもの数が増えている昨今、子どもへの犯罪を未然に防ぎ、子どもが安全で安心して学校生活を送ることができる環境を地域ぐるみで整備。

#### 〔主な活動〕

校門前の立ち番・通学路の見守り・地域パトロール

#### 〔活動組織・人数〕

灘区内の全ての小学校・一部の中学校で活動あり。多くが見守り隊として組織化。1回の活動人数は、5名～40名と学校によって異なります。

#### 〔構成員〕

PTA、防犯協会、青少年育成協議会、防災福祉コミュニティ、自治会、婦人会等、各学校によって構成員の人数、活動団体が若干異なります。

### (4) 「灘・防犯みはり運動」

#### 〔目的等〕

赤坂地区からスタートした運動で、「みんなでつくろう安全・安心なまちづくり」を合言葉に、2004年（平成16年）5月1日から始めました。運動の特徴としては、1日に2回程度、玄関から一歩外に出てあたりを見まわすものです。

#### 〔主な活動〕

空き巣が多発する時間帯（午後3時ごろから午後7時ごろまでの間）、子どもが学校・塾から帰宅する時間、車上ねらいなどが発生する時間帯（就寝前）などに1日2回程度家の外に出ます。知らない人が近所の様子をうかがっているときは、「どちらの家をお探ですか。」と声をかけます。

不審な人、おかしい人と思ったら110番通報、または灘警察署に連絡します。

#### 〔構成員〕

「灘・防犯みはり運動推進協議会」は、防犯協会、自治会、婦人会、老人クラブなど25団体で構成されています。

### (5) 「光のまち神戸運動」関連／防犯灯の照度アップ

神戸市では、夜間における交通の安全と犯罪の防止を目的に、市民の皆さんと共に街灯の整備を進めてまいりました。この結果、現在市内で約16万5千灯もの街灯が整備されています。

今後も、環境にも配慮しながら、より明るく、安全で安心なまちづくりをめざして街灯の整備を進めていきたいと考えています。

#### ●街灯の照度アップ

従来は20ワットとしていた防犯灯の基準を32ワットに上げ、地域の皆さんと一緒に「暗がりパトロール」を行うなどしながら、器具の取替や増設を進めています。

これについては、市の中期計画に基づいて、平成22年度までに約3万5千灯の防犯灯を32ワットに取り替えることを目標としており、平成20年3月末現在までに5,470灯の増設と15,190灯の取替を行いました。

32ワットの防犯灯は、20ワットの防犯灯に比べると、明るさが約2.4倍もあり、寿命も長く、かつ電気料金が同じであるなど、効率がよく環境に優しいものとなっています。

#### ●「門灯点灯運動」にご協力ください

安全・安心なまちづくりに向けて、今後も街灯整備に取り組んでまいります。皆さんの暮らすまちが、より明るく安心して暮らせるまちとなるよう、ご自宅の門灯の点灯へのご協力をお願いします。

《出典：神戸市ホームページ「光のまち神戸」運動より》

#### ●青色防犯灯

「青色防犯灯」は、イギリス北部の都市グラスゴー中心部のショッピングストリートで、景観を良くする目的で、街灯を「オレンジ色」から「青色」に変えたところ、犯罪が減少するという現象が起きたとのことで、全世界に広がりました。

日本では、2004年（平成16年）に奈良県警察本部が最初に「青色防犯灯」を採用しました。

そして神戸市では、地域住民の要請もあり、モデル地区として、成徳小学校周辺が選ばれ、2007（平成19年）年8月2日に付け替え工事が行なわれました。

ただ、「青色防犯灯」は、同じワット数であれば「白色防犯灯」より暗くなることや、経費的にも高つくなど万能ではありません。

また、「青い光」は、「科学的根拠」は得られていませんが、人を落ち着かせる効果があるといわれています。